

CHACONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS

百年先まで届く響きを。

シャコンヌは、ヴァイオリンをはじめ、弦楽器のコンサルタントとして安心と信頼をお届けしています。

ご提供する楽器や弓は、ロンドンでのオークションをはじめヨーロッパ各地にて実際に目で見て吟味したものを輸入して揃えています。各店には、伝統的な修理技術をもとに日本の繊細な技術を生かした独自の基準をクリアした職人たちが常駐し、楽器本来の姿を取り戻します。また東京海上火災の代理店として楽器保険業務も行なっております。お客様が安心して演奏活動ができますよう、あらゆるご要望にお応えします。

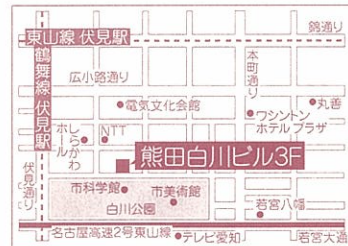
地方展示会の開催や弊社担当者が全国各地を定期訪問、出張修理なども致しておりますのでご利用下さい。



<http://www.chaconne.info>

弦楽器直輸入・修理・調整・楽譜・鑑定・楽器保険
株式会社 **シャコンヌ**

【全店共通】営業時間/10:00~18:30 定休日/日・月曜日
E-mail: chaconne@pop06.odn.ne.jp



名古屋店
名古屋市中区
栄2-11-19
熊田白川ビル3F
TEL 052-202-1776
FAX 052-202-2990

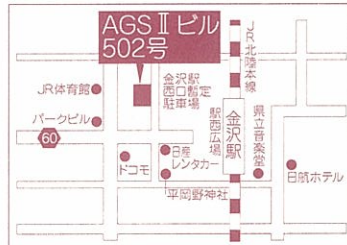


東京 吉祥寺店
武蔵野市
吉祥寺本町1-31-11
KSビル904
TEL 0422-23-1879
FAX 0422-23-1876

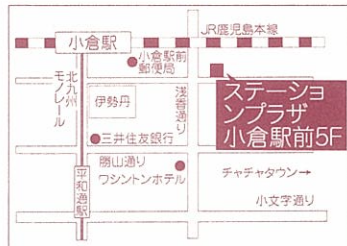
株式会社 **カノン**
ヴァイオリンレンタル
名古屋市中区単子町9-1ロイヤル棟中2F
TEL 052-834-4911 FAX 052-839-1217



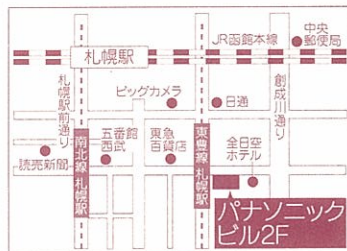
運命の一本との出会いがここにある



金沢店
金沢市広岡
1丁目212番
AGS IIビル502号
TEL 076-221-1779
FAX 076-232-3249



九州小倉店
北九州市小倉北区
京町4-5-27
ステーションプラザ
小倉駅前5F
TEL 093-531-2672
FAX 093-531-2574



札幌店
札幌市中央区
北3条西1丁目1-1
ナショナルビル2F
TEL 011-221-2561
FAX 011-221-2562

The 37th Kurashiki Orchestra

倉敷管弦楽団

第37回定期演奏会

日時

2011. **6.19** [SUN] 14時3分開演
(14時開場)

場所

倉敷市民会館



指揮: **金 洪才**



主催: 倉敷管弦楽団 共催: 倉敷市文化連盟
後援: 岡山県・倉敷市・RSK山陽放送・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・岡山県郷土文化財団・財団法人倉敷市文化振興財団



倉敷管弦楽団
団長 田辺幹夫

岡山で戦後初めてアマチュアオーケストラを立ち上げたのは武本來平氏という方です。武本氏は戦後まもなく岡山フィルハーモニー交響楽団（現在の岡山フィルハーモニックとは無関係）を結成して、コントラバス、ティンパニなどは自費で購入され、自身は東京へ通って鷺見三郎氏、斉藤秀雄氏、尾高尚忠氏（当時のN響指揮者）から指揮法を学び、活動を開始しました。

当時は戦後の混乱期で団員のなり手も少なく、当時旧制高校生だった私のようなチェロの初心者にも声がかかり、「もっとうまくなってから入ります」「うまくなってから入らんじゃない、入ったらうまくなるんだ」ということで、一番後ろで小さくなってひいたものです。

昭和23年（1948年）に小学校の講堂を借りて華々しく第1回定期演奏会を開催し、その後10回くらい演奏会を開催しましたが、昭和26年（1951年）に武本氏は一身上の都合で東京へ移ってしまわれ、折角の岡山フィルハーモニー交響楽団は挫折してしまいました。

大変残念なことでしたが、しかしオーケストラの組織は残り、その後糸賀英憲氏の岡山放送交響楽団に引き継がれ、その後も何回かの変遷を経て現在の岡山交響楽団になっています。その流れの中で我々の倉敷管弦楽団は昭和49年（1974年）に誕生し、その後はプロ、アマチュア、ジュニアのオーケストラが林立する現在の盛況に至っています。

私は武本氏が東京へ移られた後も交流をつづけて来ましたが、今年はじめにその武本氏が死去されたとの知らせを受け取りました。享年93歳、最後まで音楽に対する情熱を失わなかった生涯でした。

岡山フィルハーモニー交響楽団以来60年余りの年月が流れましたが、今日の隆盛の基礎を築かれた武本來平氏の名前を我々は今後も忘れることなく、次の世代の人々に引き継いで行きたいと願っています。

今日の演奏は久しぶりにおなじみの金洪才氏の指揮によるチャイコフスキー：交響曲第4番その他です。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

今日の演奏は久しぶりにおなじみの金洪才氏の指揮によるチャイコフスキー：交響曲第4番その他です。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

G. ヴェルディ：歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲

A. ハチャトゥリアン：「ガイース」組曲 より

抒情的デュエット

ばらの乙女の踊り

アイシャの目覚めと踊り

剣の舞

子守唄

レズギンカ

————— 休憩 —————

P. I. チャイコフスキー：交響曲第4番 へ短調、作品36

第1楽章 Andante sostenuto - Moderato con anima

第2楽章 Andantino in modo di canzona

第3楽章 Scherzo : Pizzicato ostinato

第4楽章 Finale : Allegro con fuoco

G. ヴェルディ (1813~1901) 歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲

19世紀を代表するイタリアの作曲家ジュゼッペ・ヴェルディは、オペラ作品の傑作を次々と制作し「歌劇王」と称された。ヴェルディの生涯を通したオペラ作品は、3ないしは4区分で解釈されることが多い。すなわち、「ナブッコ」を始めとする愛国精神を高揚させる題材を多く取り扱った第1期、単純な善悪の対立ではなく、複雑な人間性を音楽と融合させて描き出した「リゴレット」「イル・トロヴァトーレ」「椿姫」を含む第2期、イタリアオペラの華麗な旋律にフランスのグランドオペラ（バレエや合唱がふんだんに盛り込まれた豪勢な作風のオペラ）の手法を取り入れ、多国籍の様式を混合させた「アイダ」に代表される第3期、ヴェルディのシェイクスピアに対する熱意が原動力となった晩年の傑作「オテロ」、「ファルスタッフ」の第4期である。

「シチリア島の夕べの祈り」は第3期の始めに位置づけられるが、「椿姫」の次にパリ・オペラ座の支配人の要請に応じて作曲され、1855年パリ・オペラ座で初演された。作品はグランドオペラの形式に則りバレエを含む五幕形式からなる。舞台は1282年、シチリア島のパレルモ。当時のシチリア島はフランスの支配下にあり、フランス兵士が談笑しながら乾杯しながらいるのをシチリアの島民が憎悪のこもった灰色のまなざしで見ている場面で幕開ける。

物語の主人公は、フランス政府に兄を処刑され復讐を誓う前シチリア公の妹エレナ、エレナを愛するアリーゴ、フランスへの反逆の指導者プロチダ、そしてフランス総督モンフォルテの4人。フランス兵士の酔っ払いに歌を強要され、逆にシチリア島民のフランスへの反逆心を煽りながら歌うエレナ、その騒動を威圧感で抑えた総督モンフォルテ、総督と知らずに無謀にもモンフォルテに戦いを挑むアリーゴの登場と物語は始まり、プロチダの上陸と出会い、モンフォルテからアリーゴへ

の突然の宴会の招待、それを断固拒否したアリーゴの連行と展開する。宴会に島民とともに潜入したプロチダとエレナはモンフォルテの暗殺を企むが、モンフォルテが実の父親であることを知ったアリーゴがモンフォルテを庇い計画は失敗。プロチダとエレナは捕えられる。

苦悩するアリーゴは牢の中のエレナと会い、自分がモンフォルテの息子であることを告げ赦される。エレナとプロチダの処刑が迫るが、アリーゴがモンフォルテに父と呼びかけることで二人は赦され、アリーゴとエレナの結婚が融和の象徴としてモンフォルテから提案される。幸せの絶頂にあるエレナとアリーゴ。そこへプロチダがエレナに祝いの鐘と同時に殺戮が始まると語る。蒼白のエレナに何事かと聞くアリーゴ。モンフォルテが表れ結婚式が始まる。祝いの鐘。島民の一斉蜂起と殺戮。物語はそこで唐突に幕切れする。

以上がオペラのあらすじだが、ヴェルディ自身はこの台本をあまり気に入っていたわけではなく、初演にこぎつけるまでヴェルディと台本家との間、またパリ・オペラ座当局との間で反目や対立はなくなかったようである。また、フランスへのイタリアの勝利を題材としたこのオペラは、よりによってパリの万国博覧会が開かれている時期に書かれており、それだけに6百年以上も前の出来事だということに御上の検閲が入り、ヴェルディの創作意欲が削がれるような状況ではあったようである。しかしながら、この序曲冒頭の弦楽器と打楽器の悲劇を予感させる緊迫感を含んだやり取りや、木管楽器や弦楽器により奏でられる旋律の強烈な印象、オーケストレーションの多様性等、ヴェルディらしさは随所に認められ、この作品がヴェルディにとって独自のスタイルを新たに確立するための広範な実験の場であったのではないかという印象を与える。

(小笠原泰志)

A. ハチャトゥリアン (1903~1978) 「ガイーン」組曲 より

アラム・ハチャトゥリアン(Aram Khachaturian)は、1903年生まれ、ソヴィエト連邦、ロシアの作曲家・指揮者。ソ連人民芸術家。グルジアに生まれたアルメニア人で、モスクワで音楽を学び、レーニン賞など多数の賞を受け、高い評価を受ける一方、自作の指揮者としても活躍しました。映画音楽も手がけ、チェコスロバキア国際映画祭個人賞も受賞しました。プロコフィエフ、ショスタコーヴィチと共にソヴィエト三巨匠の一人と称されています。組曲「仮面舞踏会」や今回演奏するバレエ音楽「ガイーン」組曲がとりわけ演奏機会が多く、中では「剣の舞」が、オーケストラ入門曲、映像BGMなどとして広く知られています。作風は、故郷であるカフカス地方の民族音楽の影響を強く受け、強烈で濃厚な雰囲気には溢れています。ガイーン「Gayane」は、4幕からなるバレエ作品で、1942年、キーロフ・バレエ団によって初演されました。1940年代のソヴィエト連邦の集団農場「コルホーズ」での、農民の生活が題材になっていて、若いアルメニア人女性であるガイーンの愛国心が、自らの夫が祖国を欺いていると知った時の自らの感情との葛藤を呼ぶという物語です。バレエは約50曲からなり、そのうち21曲をとりだし、作曲者自ら3つの演奏会用組曲として再編成しました。さらにその中から、特に印象深く、特徴的な6曲を選択し、演奏いたします。なお、その後の1958年、ボリショイ劇場での公演では、当時の振付師からの要請により、筋や音楽を大幅に変更しています。ハチャトゥリアン自身、後日、音楽を切り貼りされて嘆いたと伝えられています。

抒情的デュエット

ホルンのファンファーレで曲がはじまります。舞曲では主人公ガイーンをあらわしたメロディが

出ます。
民族的で印象的なメロディです。

ばらの乙女の踊り

ばらをかざした乙女たちの華やかで、すこしおどけた舞曲です。

アイシャの目覚めと踊り

アイシャは、筋の中に出てくる若い女性です。夜明けを思わせる暗く不気味な音楽ではじまり、やがて、魅惑的なアイシャの踊り（ワルツ）があらわれます。

剣の舞

クルド族に伝わる出陣の舞踏の音楽を、パーカッションの激しいリズムと金管楽器の咆哮で表現する、きわめて強い印象を持つ作品。ハチャトゥリアンの名前を全世界に知らしめた名曲。中間部では、チェロとサクソに、「抒情的デュエット」のメロディがあらわれ、変化をつけています。

子守唄

ガイーンの幼子リプシメに歌ってきかせる子守唄。哀愁たどよう音楽です。

レズギンカ

ロシア・コーカサス山脈北東に住むレズギン人の民族舞踏で、バレエではクルド人の踊りとして演奏されます。スネア(小太鼓)の強烈なリズムによって、エネルギーで騒々しい音楽が繰り返されます。全世界で、ブラスバンドの重要なレパートリーになっています。

(松江雄二)

P. I. チャイコフスキー (1840~1893) 交響曲第4番 ヘ短調, 作品36

P. I. チャイコフスキー 交響曲第4番 ヘ短調
作品36

この交響曲第4番は、後に続く交響曲第5番、交響曲第6番「悲愴」とあわせて「チャイコの456 (しごろく)」と言われるほどのおなじみの名曲である。彼は、ピアノ協奏曲第1番の初演で大成功したおかげで富豪のフォン・メック未亡人から資金援助を受けることとなった。そのお礼として捧げられたのが、この交響曲第4番である。1877年12月に書き上げ、翌78年に初演された。その後、国内外で認められ、名声と成功を手中に取めた彼の出世作である。

第1楽章 Andante sostenuto - Moderato con anima

ホルンとファゴットによる強く絶望的なファンファーレから始まり、不安をかきたてる。そしてバイオリンとチェロが悲しく、切なく歌い始め、木管楽器が続くと苦悩の度合いが増すように全楽器が鳴らし、その主題が提示される。ひとつの頂点を見た後、幾分ゆっくりとしたクラリネットのソロで次の主題が示される。その短い旋律(副主題)の装飾的な部分を木管が、歌い上げる部分をチェロ以上の弦楽器が互いに意識しながら進んでいく。すると木管軍が最初の主題を思い出し訴えかける。あつという間に主題が提示され幾重にも展開されていく。そして再現部へ進み主題と副主題の登場を見た後、苦悩の行方を確認しないまま終結していく。感情の起伏を最大限表現しているため、やや長い楽章となっている。

第2楽章 Andantino in modo di canzona

甘く切ないメロディメーカーでは随一の人気を誇る、彼の真骨頂をオーボエのソロで味わって

ただきたい。プロへのテストでも採用される大事なフレーズである。中間部で少し大陸的な旋律を奏でているが、再現部ではバイオリンがそのすばらしいメロディを受け持つ。そしてオーボエ、ファゴットのソロで終わりを告げる。記憶に残る名楽章である。

第3楽章 Scherzo : Pizzicato ostinato

この楽章ではすべての弦楽器がピチカート(弦を指ではじく奏法)という珍しい曲であり、これまた彼にしては珍しく明るい曲調でもある。農民が酒に酔って踊る風景を描いたもの。後半で管楽器が楽しげに奏でる短いメロディーが「〇〇〇のあられ」に聴こえる、というお方がいるとかいないとか。

第4楽章 Finale : Allegro con fuoco

金管楽器の張りのある明るい響きと共に幕を開ける終楽章。運命に勝利したかのような華やかさである。音符の多さで前に前に進んでいくさまを表しているようだ。ひとしきり全楽器が鳴り終えた後、オーボエとファゴットで次の(やはり)暗いテーマが告げられる。そしてそのテーマを素直に歌い続け、上昇と下降を織り交ぜながら膨らませていく。そしてたどり着いたのは最初の絶望的なファンファーレである。苦悩はそのまま解決をみなかったのか? 不安のなか、一筋の陽光のようなロシア民謡に導かれ進もうとすると、行く手には解決を見なかった終楽章の幕開けの音がどンドン展開される。スピードを増し、最後は不安を表すためか、和音ではなく全楽器の実音F(ファ)を響かせて終わる。

(糸島早苗)



指揮者: 金 洪才
(キムホンジェ)

1978年、東京シティ・フィル特別演奏会でデビュー。79年、東京国際指揮コンクールで第2位と、初めての特別賞(齋藤秀雄賞)を受賞。テレビ番組「オーケストラがやってきた」、「私の音楽会」の専属指揮者に選ばれる。東京シティ・フィル、名古屋フィル、京都市響、広島交響楽団の指揮者を歴任の傍ら、読響、東京都響、新日フィルをはじめ全国の主要オーケストラに客演。89年よりベルリンにおいて作曲家、尹伊桑(ユン・イサン)氏の下で研鑽を積む。92年9月には、ニューヨーク・コーリアン交響楽団を指揮し、カーネギーホールでアメリカデビューを果たし大成功を取めた。2000年10月、ソウルで開かれたアジア欧州会議(ASEM)の祝賀公演に招かれて韓国KBS交響楽団を指揮。以後、同オーケストラに度々招かれるほか、韓国交響楽団定期演奏会にも出演。04年10月、文化庁舞台芸術国際フェスティバル公演として、ソウル・フィルハーモニック管弦楽団来日公演を指揮、続くソウル公演にも客演する。オペラでは01年10月に韓国《芸術の殿堂・オペラハウス》でヴェルディ「仮面舞踏会」を5夜連続公演し大成功を取めた。03年9月にはひろしまオペラ推進委員会主催による日韓提携公演プッチーニ「蝶々夫人」を指揮、この分野でも着実にキャリアを重ねている。平成10年度、渡邊暁雄音楽賞受賞。

倉敷管弦楽団 Kurashiki Orchestra

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしいレベルの高い楽団として活動を続け、毎年約5回の演奏会を開催し、今年で37年目になります。

その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞しました。また、平成18年には常任指揮者の菊池東氏が倉敷市文化章を受章しました。

毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏、曾我大介氏、角田鋼亮氏を招き、団員や演奏のレベルアップをはかっています。また、今まで共演したソリストも多く、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランパル氏、ヴァイオリンではイヴリー・ギドリリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天馬敦子氏、アナスタシア・チェボタリョーフ氏、久保陽子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、松本和将氏、ルース・スレンチェンスカ氏、アンドレイ・ピサレフ氏、チェロの岩崎洸氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの新田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多く行っています。また、倉敷地方の文化レベル向上に積極的に貢献しており、倉敷音楽祭に毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、シヨスタコービチ オラトリオ「森の歌」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、團伊玖磨「夕鶴」、ビゼー「カルメン」等のオペラ、バレエの競演、に出演しています。昨年は、交響詩「ローマの祭」などを演奏しました。県内のオーケストラの聴く機会の少ない地域にも、毎年のように出向いて、演奏会を開いています。

演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」、小六禮次郎氏作曲「瀬戸内賛歌」などを初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J・シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「蝶々夫人」などを演奏。

創立10周年記念演奏会では400人からなるベートーヴェン「第九」、20周年ではイヴリー・ギドリリス氏、岩崎洸氏との「コンチェルトの夕べ」を開催し、30周年では、マーラー「交響曲第1番・巨人」を演奏しました。

倉敷管弦楽団
団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7:00~9:30
練習場所 倉敷市文化交流会館
団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人
募集パート 全パート(管楽器は一部)
●お問い合わせは info@kurakan.org
田辺幹夫/☎086-263-3521 菊池 東/☎086-522-5145
http://kurakan.org/kurakan-blog/

倉敷管弦楽団

団長/田辺幹夫 常任指揮者/菊池 東
ソロコンサートマスター/佐藤真理子 コンサートマスター/阿曾沼和代
運営委員長/松江雄二 運営委員/木村沙織 大西智幸 糸島早苗
監事/鮑浦良和 月本裕子

Violin1	佐藤真理子 妹尾 恵子 三宅 郁子	阿曾沼和代 中塚えりか 森安 鋭子	鮑浦 良和 平松 綾 柳井 典子	岡崎千瑞子 ◎藤田 真理 山根 範子	小川佳奈子 丸山 博樹 渡辺 陽子
Violin2	鈴木 文香 大村 奈美 松崎 国生	杉山 晃一 清久 彩 岡本奈津実	◎上原 保美 中島 恵子	荒木加英子 原田 洋輔	岩瀬 文達 村上 節美
Viola	◎松江 靖子 武本 克巳	菊池 東 雛倉 弥生	岩瀬 裕子 ※滝澤 陽子	大塚 浩二 ※山下 徳美	木村 沙織
Violincello	◎松江 雄二 田辺 幹夫	石川 恵子 辻田 順子	大西 智幸 平松 真弓	栗木由美子 松本 圭子	田中 光子
Contrabass	◎本屋敷勝信 ※仲原 利江	糸島 早苗	田中よしこ	平松 博之	※岡崎謙一郎
Flute	小池かほる	◎坂井 昌子	月本 裕子	宮尾 紀子	
Oboe	清水 教智	瀬尾 祥治	◎吉田 容子		
Clarinet	小笠原泰志	福島 恭子	◎松本美和子	安原 由美	※家島 美幸
Fagotto	大賀 智子	◎西 恵美	福森 絢子		
Sax	※井上 有記				
Horn	相澤 弘明 松原 友美	大島 賢治	◎澤田 秀実	濱 賢司	前田 珠代
Trumpet	原田 宗範	※安部志穂里	※木口龍之介	※田中 直喜	
Trombone	◎松尾 浩寿	松田英一郎	曾布川拓也		
Tuba	浅野 尚行				
Percussion	◎高尾 暢子	※井上 充隆	※今岡奈津子	※河田江理奈	※福田 晴香
Harp	竹村 知子				
Piano/Celesta	※島山 勝子				

S.50.12.8
第1回定期演奏会
指揮/菊池 東
ヘンデル/合奏協奏曲Op.6・10
ヴィヴァルディ/
協奏曲集「四季」より<春><夏>
バッハ/
カンタータBWV202、
ブランデンブルク協奏曲第4番
小山清茂/弦楽のためのアイヌの歌

S.51.11.16
第2回定期演奏会
指揮/早川正昭
チェロ/山崎伸子
ヴィヴァルディ/
2つのトランペットのための協奏曲ハ
長調
バッハ/
ブランデンブルク協奏曲第1番ハ長
調
レスピーギ/
リュートのための古代舞曲とアリア第
3組曲
ホッケリーニ/チェロ協奏曲変口長調

S.53.1.8
第3回定期演奏会
指揮/フォルカー・レニック
ヴァイオリン/和波孝禧
ヘンデル/水上の音楽(ハレ版)
モーツァルト/
ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調
ドヴォルザーク/弦楽セレナーデホ長調

S.53.12.10
第4回定期演奏会
指揮/菊池 東
ピアノ/深沢亮子
ブリテン/シンブルシンフォニー
バッハ/
2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ
短調
モーツァルト/交響曲第38番ニ長調
モーツァルト/
ピアノ協奏曲第20番ニ短調

S.54.12.9
第5回定期演奏会
指揮/菊池 東
チェロ/安田謙一郎
モーツァルト/交響曲第40番ト短調
ハイドン/チェロ協奏曲第2番ニ長調
ベートーヴェン/交響曲第1番ハ長調

S.55.12.7
第6回定期演奏会
指揮/堤 俊作
オーボエ/ディーテルム・ヨーナス
モーツァルト/オーボエ協奏曲ハ長調
ヘンデル/合奏協奏曲Op.6-6
ドヴォルザーク/
交響曲第9番ホ短調「新世界より」

S.56.6.9
第7回定期演奏会
指揮/早川正昭
モーツァルト/
ディヴェルティメントニ長調
ビゼー/「アルルの女」第2組曲
ベートーヴェン/交響曲第7番ハ長調

S.57.6.6
第8回定期演奏会
指揮/古谷誠一
ベートーヴェン/「エグモント」序曲
モーツァルト/交響曲第41番ハ長調

「ジュピター」
スメタナ/交響詩組曲「わが祖国」より
《高い城》《モルダウ》

S.58.12.11
第9回定期演奏会
指揮/湯浅卓雄
ヴァイオリン/豊田弓乃
モーツァルト/
「フィガロの結婚」序曲
メンデルスゾーン/
ヴァイオリン協奏曲ホ短調
ベートーヴェン/
交響曲第3変ホ長調「英雄」

S.59.12.2
倉敷第九演奏会(第10回定期演奏会)
指揮/堤 俊作
ベートーヴェン/
「レオノレ」序曲第3番
交響曲第9番ニ短調「合唱付」

S.60.6.1
第11回定期演奏会
指揮/金 洪才
トランペット/津堅直弘
ドビュッシー/小組曲
フンメル/トランペット協奏曲変ホ長調
ブラームス/交響曲第2番ニ長調

S.61.6.1
第12回定期演奏会
指揮/佐渡 裕
ヴァイオリン/守屋美枝子
ヴィオラ/江島幹雄
シベリウス/組曲「カレリア」
モーツァルト/協奏交響曲変ホ長調
メンデルスゾーン/
交響曲第3番ハ短調「スコットランド」

S.62.6.7
第13回定期演奏会
指揮/佐渡 裕
モーツァルト/
交響曲第35番ニ長調「ハフナー」
ブラームス/交響曲第1番ハ短調

S.63.6.5
第14回定期演奏会
指揮/古谷誠一
ヴァイオリン/景山誠治
モーツァルト/
「ドン・ジョバンニ」序曲
チャイコフスキー/
ヴァイオリン協奏曲ニ長調
交響曲第4番ハ短調

H.1.6.4
第15回定期演奏会
指揮/星出 豊
ヴェルディ/「ナブッコ」序曲
ヘンデル/水上の音楽(抜粋)
ブラームス/交響曲第4番ホ短調

H.2.6.3
第16回定期演奏会
指揮/田中一嘉
ピアノ/伊藤 恵
メンデルスゾーン/
序曲「フィガロの洞窟」
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」
交響曲第6番ハ長調「田園」

H.3.6.2
第17回定期演奏会
指揮/田中良和

チェロ/岩崎 洸
ロッシーニ/
「セヴィリアの理髪師」序曲
ドヴォルザーク/チェロ協奏曲短調
チャイコフスキー/
交響曲第6番短調「悲愴」

H.4.5.31
第18回定期演奏会
指揮/小出雄聖
ギター/福田進一
ビゼー/組曲「カルメン」より
ロドリゴ/アランフェス協奏曲
シベリウス/交響曲第2番ニ長調

H.5.6.6
第19回定期演奏会
指揮/増井信貴
ギター/伊藤 恵
ピアノ/若林 顕
ブラームス/ピアノ協奏曲第2番変口
長調
ラフマニノフ/交響曲第2番ホ短調

H.6.6.5
第20回定期演奏会
指揮/金 洪才
ホルン/松崎 裕
ブラームス/大学祝典序曲
R.シュトラウス/
ホルン協奏曲第1番変ホ長調
ショスタコヴィッチ/
交響曲第5番ニ短調

H.6.12.18
コンチェルトのタペ
(倉敷管弦楽団20周年記念)
指揮/飯森範親
ヴァイオリン/イヴリー・ギトリス
チェロ/岩崎 洸
モーツァルト/「魔笛」序曲
ポッパー/ハンガリア狂詩曲
ブラームス/
ヴァイオリンとチェロのための二重協
奏曲ハ短調

H.7.6.4
第21回定期演奏会
指揮/金 洪才
ピアノ/花房晴美
ポロディン/
「イーゴリ公」よりダッタン人のおどり
ラフマニノフ/
ピアノ協奏曲第2番ハ短調
チャイコフスキー/
交響曲第5番ホ短調

H.8.5.26
第22回定期演奏会
指揮/金 洪才
琵琶/陶 敬頼
バーバー/弦楽のためのアダージョ
呉祖強・王燕樵・劉徳海/
琵琶協奏曲「草原小妹妹」
ペルリオーズ/幻想交響曲ハ長調

H.9.5.25
第23回定期演奏会
指揮/小野田宏之
オーボエ/茂木大輔
モーツァルト/
交響曲第39番変ホ長調
オーボエ協奏曲ハ長調
ムソルグスキー・ラヴェル/
組曲「展覧会の絵」

H.10.5.31
第24回定期演奏会
指揮/金 洪才
ヴァイオリン/天満敦子
ウェーバー/「オベロン」序曲
シベリウス/
ヴァイオリン協奏曲ニ短調
ブルックナー/
交響曲第4番変ホ長調「ロマン
ティック」

H.11.5.30
第25回定期演奏会
指揮/増井信貴
ピアノ/若林 顕
ブラームス/ピアノ協奏曲第2番変口
長調
ラフマニノフ/交響曲第2番ホ短調

H.12.5.28
第26回定期演奏会
指揮/増井信貴
プロコフィエフ/交響曲第1番ニ長調
「古典」
リスト/交響詩・前奏曲
ブラームス/交響曲第2番ニ長調

H.13.5.27
第27回定期演奏会
指揮/田中良和
ピアノ/有森 博
ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番ニ
短調
シベリウス/交響曲第1番ホ短調

H.14.5.26
第28回定期演奏会
指揮/牧村邦彦
ヴァイオリン/
アナスタシア・チェボタリョーワ
ペルリオーズ/
序曲「ローマの謝肉祭」
チャイコフスキー/
ヴァイオリン協奏曲ニ長調
チャイコフスキー/
交響曲第6番短調「悲愴」

H.15.5.25
第29回定期演奏会
指揮/平井秀明
ヴァイオリン/久保陽子
ロッシーニ/「どろぼうかささぎ」序曲
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲ニ長
調
ドヴォルザーク/交響曲第7番ニ短調

H.16.5.29
第30回定期演奏会

指揮/田中一嘉
バーンスタイン/「キャンディード」序曲
レスピーギ/
リュートのための古風な舞曲とアリ
ア第2組曲
マーラー/交響曲第1番ニ長調「巨人」

H.17.5.29
第31回定期演奏会
指揮/田中一嘉
モーツァルト/
交響曲第38番ニ長調「ブラハ」
リヒャルト・シュトラウス/
交響詩「ドン・ファン」
ブラームス/交響曲第4番ホ短調

H.18.5.28
第32回定期演奏会
指揮/増井信貴
ウェーバー/
歌劇「魔弾の射手」序曲
メンデルスゾーン/
交響曲第4番ハ長調「イタリア」
リムスキー＝コルサコフ/
交響組曲「シェラザード」

H.19.5.27
第33回定期演奏会
指揮/菅我大介
スメタナ/
歌劇「売られた花嫁」序曲
モーツァルト/
交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
ストラヴィンスキー/
組曲「火の鳥」(1945年版)

H.20.1.27
松本和将with倉敷管弦楽団
指揮/菊池 東
ピアノ/松本和将
グリーグ/
「ペールギュント」第1組曲
グリーグ/
管弦楽のためのディベルティメント
渡辺俊幸/
ピアノ協奏曲ハ長調
ショパン/
ピアノ協奏曲第1番ホ短調

H.20.6.22
第34回定期演奏会
指揮/金 洪才
メンデルスゾーン/
「真夏の夜の夢」より
プロコフィエフ/
「ロメオとジュリエット」より

H.21.3.16
第23回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東

ピアノ/山田英代
真島俊夫(編曲:佐藤正俊)/
五つの沖縄民謡による組曲
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第1番ハ長調
ドヴォルザーク/
交響曲第9番ホ短調「新世界より」

H.21.11.15
第35回定期演奏会
指揮/堤 俊作
ハチャチュリアン/組曲「仮面舞踏会」
チャイコフスキー/
弦楽のためのセレナードハ長調
ドヴォルザーク/交響曲第8番ト長調

H.22.3.22
第24回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
津軽三味線/木乃下真市
伊福部昭/交響譚詩
木乃下真市/津軽三味線とオーケスト
ラのための「海流K A I R Y U」
真島俊夫/三つのジャポニスム
レスピーギ/交響詩「ローマの祭」

H.22.6.27
第36回定期演奏会
指揮/角田銅亮
ワーグナー/
歌劇「さまよえるオランダ人」序曲
ラフマニノフ/
ピアノ協奏曲第2番ハ短調
ブラームス/交響曲第1番ハ短調

H.23.3.21
第25回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
ソプラノ/渡邊 史
外山雄三/
管弦楽のためのディベルティメント
渡辺俊幸/
2002年NHK大河ドラマ「利家とま
つ」より
大島ミチル/
2009年NHK大河ドラマ「天地人」
よりオープニングテーマ
佐藤直紀/
2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」
よりオープニングテーマ
ジュピター
ホルスト/
「惑星」より、火星、金星、水星、
木星
ジョン・ウィリアムズ/
ETより地上の冒険

倉敷管弦楽団 今後の予定
2011年9月4日(日) 岡山県郷土文化財団 岡崎嘉平太記念館10周年記念演奏会
2011年10月29日(土) 玉島信用金庫 創立50周年記念演奏会
2012年1月22日(日) 山陽女子高校音楽科 定期演奏会出演
2012年3月20日(火祝) 倉敷音楽祭出演
2012年6月17日(日) 第38回定期演奏会